

令和6年度 西原南こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない) ⇄ 3 ⇄ 5(とてもよくあてはまる)) ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実	評価点の計（最大値35）	28.2
1 園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。		3.5
2 学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。		3.6
3 一人一人の園児を大切にし、園児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。		4.6
4 園児の主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。		4.0
5 学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。		3.7
6 室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。		4.5
7 保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する園児の個別の指導計画、個別の教育・保育支援計画を立案をし、実践する。		4.3
2 教育・保育の質の向上	評価点の計（最大値50）	34.2
1 園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。		3.5
2 相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。		2.7
3 週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。		3.6
4 研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。		3.2
5 園児の自発的な活動を促す環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。		4.1
6 保幼こ小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。		2.9
7 小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育課程をつなげている。		3.1
8 必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。		4.1
9 職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。		3.7
10 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。		3.3
3 子育ての支援の充実	評価点の計（最大値35）	27.6
1 家庭との連携を密に行い、個々の園児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。		3.8
2 クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。		4.8
3 学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。		3.8
4 日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。		4.2
5 事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。		4.0
6 不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。		3.1
7 家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用		3.9
【取組状況に関するコメント】	評価点の合計（最大値120）	90.0
【保育教諭の意見等】		
・公私連携こども園の教育・保育内容についての理解が薄かった。		
・教育・保育の質の向上に向け、次年度はより学びを深め、実践していくように取り組んでいきたい。		
・小学校との接続をもっと密に行いたい。		
・特別支援は、保護者や専門の先生と相談し育ちを考えることができ良かった。		
・相互に保育参観を行う機会はあまりなかったので、やってみたい。		
・接続期のカリキュラムを活用していきたい。		
・指導計画通りにうまく実践をすることができなかつた。		
・もっと保護者に寄り添って関わりをもっていきたい。		
・自己評価することで、自分の良し悪しを知ることができ良かった。点数が低いところは見直し、改善していきたい。		
・日々、クラス内での情報共有や申し送りを意識して保育展開を行っている。		
・園内の保育参観(担任同士)は次年度負担がなければやってみた方が良いと思う。		
・保護者との関わりが薄いため、家庭環境等をミーティングや担任に確認しながら把握できるように心がけていきたい。		
・フリーは色々なクラスに入るため、担任と密にコミュニケーションをとり、クラスの状況をもっと理解し、スムーズに保育やサポートができるようにしたい。		
【自己評価シート（保育教諭等）の分析及び課題】		
・園児を大切にし、園児同士も互いの良さを認め合える学級経営ができている。		
・室内外の環境構成と日常の点検をし、改善がなされている。		
・園児の自発的な活動をう促す環境構成の工夫と改善がなされている。		
・個別の支援・指導計画を作成し、指導の工夫をしている。		
・子育てや幼児理解に必要な情報発信を適切に行っている。		
・日々の保護者の悩みを聞き、解決に向けて丁寧に対応している。		
・相互に保育参観をもち、教育・保育を高め合う機会が少なかった。		
・保幼こ小の連携の中で円滑な接続に取り組めていなかった。		
・研修に自己課題をもって参加したり、専門書を読んだりするなどの自己研鑽が課題。		
・不適切な養育や虐待が疑われる子どもの早期発見、虐待予防について、保護者向けの情報提供や関係機関との連携が不十分。		